

質問

# 地域公共交通計画の方向性は

町長

## 地域と連携した計画を策定



内田 雅人 議員



今の形態を見直し、利便性の高い地域交通に転換を

質問 地域公共交通

は採算面やドライバー不足により継続が困難になっており、転換期にある。地域の実情にあった運営方法や形態に変え、高齢者や児童・生徒にとって利便性が高いものにするのが求められる。

公共交通計画の策定に向け協議が進んでいるが、その方向性は。

町長 児童・生徒の安全と、高齢者にも利便性の高い輸送を前提として、交通事業者の相互連携や地域住民によるドライ

バーなど、連携のすみ分けを整理し、事業者や地域の意向も踏まえて計画を策定していく。

質問 政府で議論

されているライドシェアについてどう考えるか。ライドシェアとはひとりで言えば「乗用車を使う会員制の旅客運送」であり、個人の白タクとは別物だ。鳥取県も先月鳥取型ライドシェアを発表した。

町長 ライドシェアの実施にあたってはタクシー事業者との競合などの問題も生じる。しかし交通環境を取り巻く状況は変化しており、様々な輸送手段のひとつとして検討したい。

盛んな地域交流を推奨する取組の実施を

質問 この秋は様々

なイベントが復活し、地域交流によって笑顔が増えることを実感した。総合計画にもあるが、スポーツ大会や文化祭、健康づくりのイベントなどへの参加を推奨する取組は必要だ。

県内でも増えているが、つながりで築く笑顔あふれるまちを掲げる奥出雲町も、地域交流にポイントを付与するなどの取組を実施してもらいたい。



各地区で復活した笑顔あふれる文化祭

町長 地域貢献活動や町のイベントへの参加、健診を促すことも大事だと思っている。環境事業もそうだ。近隣の市町村でも導入が広がっており、この取組は必要だと考えている。今後町民の皆様の利便性を最優先に検討したい。

その他の質問

情報システムの標準化・共通化について